

富士箱根伊豆国立公園（伊豆半島地域）の公園計画の変更案の概要

1. 背景

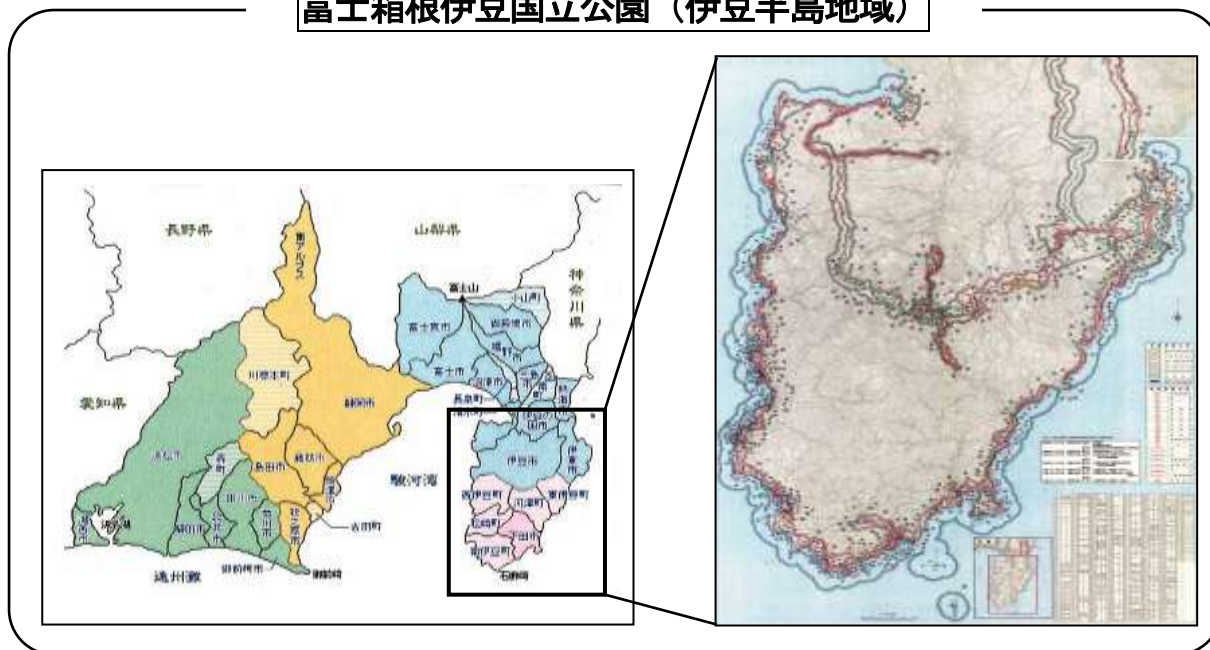
富士箱根伊豆国立公園は、昭和 11 年 2 月 1 日に富士箱根国立公園として指定され、昭和 30 年 3 月 15 日に伊豆半島を追加指定し、富士箱根伊豆国立公園に名称変更されました。

伊豆半島地域は、太平洋に突出した火山半島に位置し、複雑な火山活動と一体の隆起沈降によって形成された半島としては珍しい複雑な地形を呈しており、利用拠点を自動車交通により結ぶ道路公園としての利用が特色です。

当該地域は昭和 56 年に山稜部、昭和 58 年に海岸部の公園計画の全般的な見直し（再検討）が行われ、平成 2 年（第 1 次）、平成 8 年（第 2 次）及び平成 17 年（第 3 次）に公園計画の点検を行い、現在に至っています。

第 3 次点検から 10 年が経過し、道路交通事情の変化に伴う当該地域全体の利用動態の変化や、富士山が世界文化遺産に登録されて以降、海越しに富士山を眺める伊豆西海岸の展望景勝地の利用ニーズが高まるなど、伊豆半島全体として適正な公園利用の整備・促進が求められています。これらの社会的要請等に対応し、より一層の適切な公園管理と適正な利用促進の観点から、現行計画を踏まえつつ、公園計画の変更（第 4 次点検）を行うものです。

富士箱根伊豆国立公園（伊豆半島地域）



2. 変更案のポイント

伊豆西海岸で、特に眺望に優れ、利用者が増加している恋人岬に隣接しアクセスに優れた小下田地区において、探勝拠点の整備を図り適正な公園利用を促進するため、宿舎計画の追加を行います。

3. 変更案の詳細

利用施設計画の変更：宿舎 1 箇所（静岡県伊豆市小下田）の追加